

東芝プラントシステム(株)厚木技術開発センター サイトレポート情報	
所在地	神奈川県厚木市戸室5-31-3
敷地面積	16,385m ² 、建家面積:8,215m ² 、緑化率:22.2%
設立	1986年2月、従業員:51人(2011年4月1日現在)
主要製品	原子力、火力、水力発電設備用配管、汚泥処理設備(厚木工場)
ISO14001認証取得	1998年3月、最新更新年月:2010年1月 (ISO登録番号:E99-101)



ごあいさつ

当センターは、発電設備や受変電設備の配管プレハブ他各種産業プラント用機器を製作する厚木工場、開発部門の技術研究所・技術研修所の2部門からなる複合事業所〔ATC〕です。環境保全活動は、さらに同じ市内にある厚木機材センター〔厚機〕と合同で取り組んでいます。



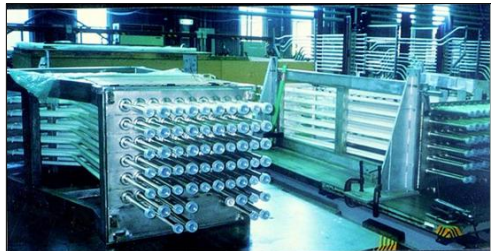
環境管理責任者 長谷川 光次

2010年度の環境の主な取組み

- ☆東芝総合環境サイトセルフ監査実施
2011年2月9, 10日
評価:環境経営監査 B(86.7%), 現場監査 A(100.0%)
- ☆環境法令の遵守
環境関連法令の定期的確認(上期・下期)、環境教育の実施(6月)、環境パトロールの実施(1回/月)
- ☆廃棄物ゼロエミッションの継続
廃棄物のリサイクル率99.5%以上
- ☆取引先に関する環境配慮
廃棄委託業者処分場(中間処理)確認 1件
- ☆地域との協調
 1. 厚木市主催 ポイ捨て防止キャンペーン等地域の各種環境行事への参加(9件)
 2. 〔ATC〕〔厚機〕近傍の清掃活動実施(5件)
 3. 厚木地区廃棄物対策協議会 新春講演会、優良企業研修会などへの参加(5件)
 4. 地元自治会へゴミ捨て場の提供

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

CRD系挿入引抜配管



汚泥処理装置



自動溶接機ヘッドの開発



環境コミュニケーションの紹介

- ・地域との交流:
 - 10年5月 厚木市相模川クリーンキャンペーン
 - 10年10月、12月、11年3月 厚木市ポイ捨て防止キャンペーン
- ・自治体等主催行事参画:
 - 10年5月 厚木地区廃棄物対策協議会主催 総合講習会参加
 - 10年7月 尼寺工業団地協議会研修見学会参加
- ・自主活動: 10年6月、9月、12月、11年1月地域清掃活動



厚木市 相模川
クリーンキャンペーン



厚木市ポイ捨て防止
キャンペーン

環境基本方針

当社は、顧客の信頼に応え、社会の発展に貢献すると共に、“かけがえのない地球”環境を健全な状態で次世代に引継いでいくことは企業の社会的責務であるとの認識にたち、企画、設計などのエンジニアリングから調達、施工、フィールドサービスまでを一貫して行う総合設備工事会社として、東芝グループ環境ビジョンのもと環境に関する継続的な改善と汚染予防を図るために、次の環境管理活動を中心として環境経営を推進します。

1. 地球環境の保全を経営の最重要課題の一つに位置付け、当社の事業活動について生物多様性を含む環境への影響を評価し、技術的・経済的に可能な範囲で環境活動を推進します。
2. 環境に関する法令及び当社が同意したその他の指針等を遵守すると共に、自社の管理基準を定め、定期的にはまたは必要に応じて適宜その見直しを実施して管理の向上を図ります。
3. 環境負荷の低減のために、設計段階から保守サービスまで、次の活動に取り組みます。また、環境負荷の低減に配慮した製品・技術の開発及びサービスを提供します。
 - (1) 産業廃棄物総排出量の削減及びリサイクルによる再資源化
 - (2) エネルギー消費の削減による地球温暖化防止
 - (3) 地球温暖化防止に寄与する発電機器・システムや新エネルギー機器の開発
 - (4) 製品・システムの使用材料の削減、小型化、高性能による省資源・省エネルギー化
4. 教育・訓練及び意識向上活動等の展開により、関係会社及び協力会社などに対して指導・援助を実施すると共に、全従業員及び当社のために働くすべての人の環境意識をより高め、全員で環境活動に取り組みます。また、地域・社会との協調を図り、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

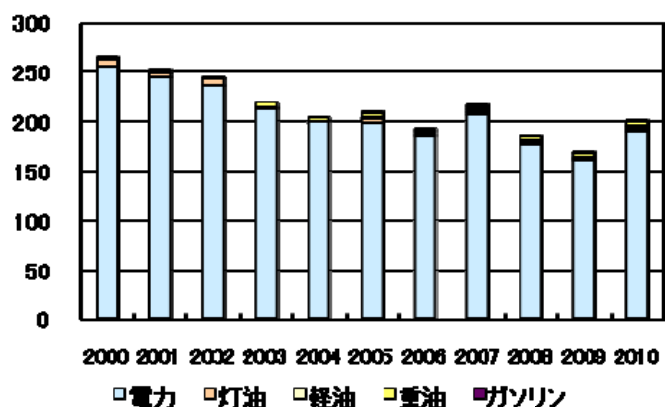
2011年 4月 1日

東芝プラントシステム株式会社

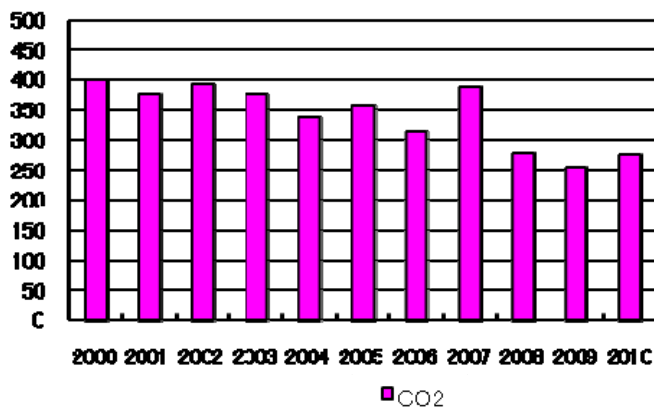
取締役社長 石井 哲男

環境負荷データ

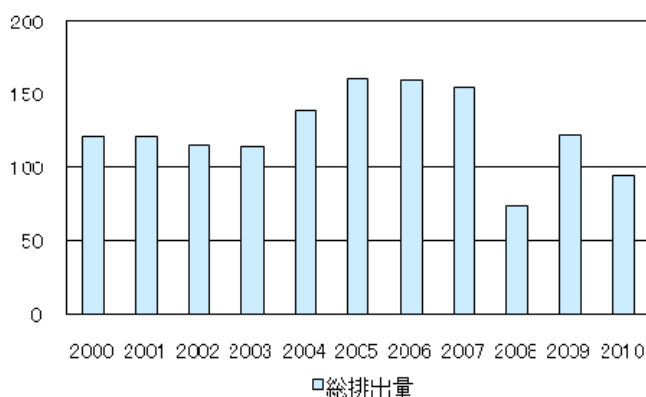
エネルギー使用量(単位:KL)



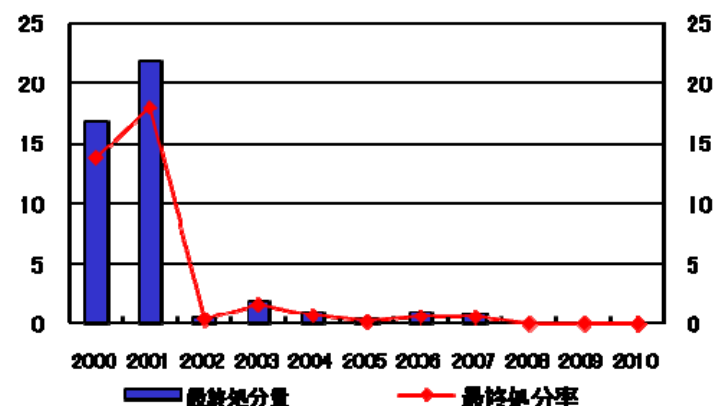
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

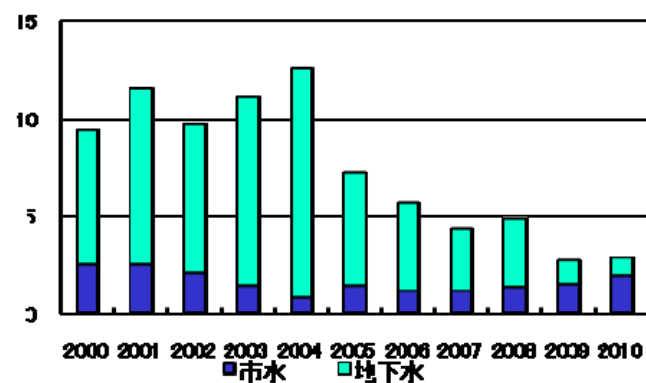


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

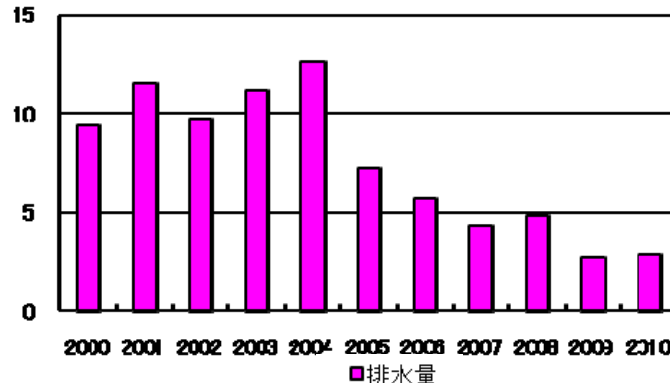


主な廃物名: 金属、プラスチック、廃油、木屑、紙くず等

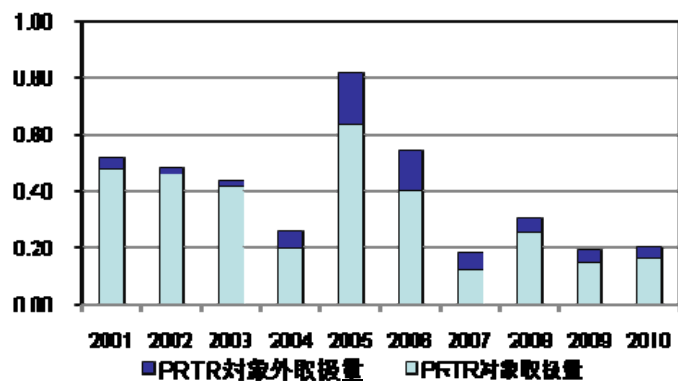
水の使用量(単位:千m³)



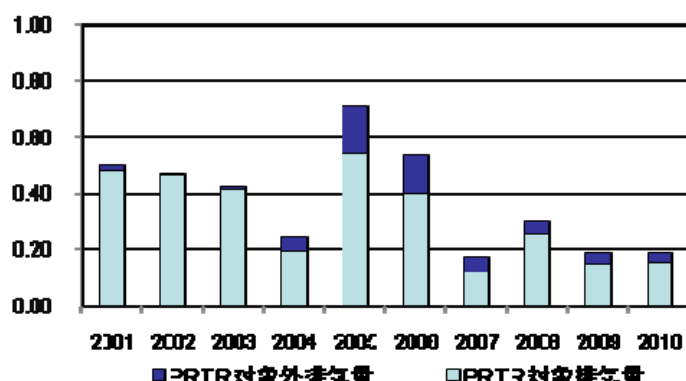
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン、メチルアルコール等

遵法管理状況

<大気測定結果> [ATC]小型給湯ボイラー(灯油使用) 1台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	150	55	年1回
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	対象外	対象外	対象外

<排水測定結果> (主な測定結果)([ATC]雨水排水調整池 河川(相模川)へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外(5.8~8.6)	6.0~8.5	6.8	年2回
BOD(mg/ℓ)	対象外(25)	20	5.0未満	年2回
COD(mg/ℓ)	対象外(25)	20	4.0	年2回
SS(mg/ℓ)	対象外(70)	56	1.0未満	年2回
窒素(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
フッ素(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外

<騒音・振動測定結果> 特定施設 騒音・振動: [ATC]空気圧縮機 2台

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	70	65	56	年1回
	敷地境界:夜	—	—	—	—
振動(dB)	敷地境界:昼	70	65	49	年1回
	敷地境界:夜	—	—	—	—

<その他測定結果> (下水道法: [ATC]主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0	5.4~8.6	8	年2回
BOD(mg/ℓ)	600	96	5.9	年2回
SS(mg/ℓ)	600	480	9	年2回

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし